

監査結果（包括外部監査）に係る措置通知書

こども若者局	（令和5年度）
監査結果 （指摘事項）	改善措置
<p>（指摘） 放課後児童クラブを運営する民間事業者に支給する補助金の加算誤りについて</p> <p>放課後児童健全育成事業を運営する事業者のうち、一定の要件を満たした事業者に対して補助金を上乘せして支給している。その要件のうち、保護者負担の基準額を15,000円以下とする要件を満たしていないにもかかわらず、これを見逃し補助金を加算して支給していた。</p> <p>事業者から提出された申請書類の内容についてチェックシートを使用してチェックすることとしていたが、加算要件を満たしていないことを見逃した事業者については、チェックシートにチェックマークが付されていない、1次検討者が疑問点があることの備忘として「？」マークを残していたが、次にチェックする課内職員へ適切に引き継がれず、チェック機能が働かなかったため、加算要件を見過ごす結果となった。</p> <p>チェックシートをより実効性があるものとするべく、チェックを行った場合は必ずチェックマークを付すことはもちろん、現状チェックマークを付すだけとなっている箇所について加算要件となる項目の金額や面積を記載するなど様式を見直すことが必要である。加えて、チェックシートの意義を課内職員で共有し、チェック時に疑義が生じた場合は上位者へ適時適切に報告するなど課内のコミュニケーションを充実させるとともに十分なチェック体制を整備されたい。</p> <p>また、補助金を申請する際に事業者が参照する「仙台市放課後児童健全育成事業に関する手引き」に補助金の交付対象事業に係る収入は非課税取引であることを明記されたい。</p>	<p>チェックシートに、加算要件となる負担金の額や面積等を記載し、確認項目を明確にしたほか、非課税取引となる旨追記するとともに、ダブルチェック欄を設け、複数の職員による1次チェック及び2次チェック、係長による3次チェックを行うこととし、チェック体制の整備を図った。</p> <p>さらに、毎年度、補助金申請受付前に打合せを行い、補助金交付要綱とチェックシートを突き合わせ、意義や注意点を確認するとともに、疑義が生じた際にはチェックシートに記載し、次のチェック者へ申し送りを行うことについて確認することとした。</p> <p>また、民間事業者向けの説明会を実施し、当該事業は非課税となること等事業にかかる留意事項等について、周知を図るとともに、「仙台市放課後児童健全育成事業に関する手引き」（令和6年度版）に、当該事業は非課税となる旨記載した。</p> <p>民間事業者向け説明会実施日 令和6年3月19日 課内打合せ実施日 令和6年5月17日</p>